

北海道大学産学・地域協働推進機構に産業創出部門を設置

～先進 IT プロトタイプ研究部門が IT の社会実装を加速～

【概要】

2019年4月1日（月）に北海道大学はアイ・システム株式会社（代表取締役会長：松崎 務）、株式会社シーズ・ラボ（代表取締役社長：湯浅俊彦）、株式会社セラフ（代表取締役社長：玉森一充）、フュージョン株式会社（代表取締役会長：花井秀勝）及び株式会社ユニリタ（代表取締役社長：北野裕行）の5企業と産業創出部門（先進 IT プロトタイプ研究部門）を産学・地域協働推進機構に設置しました。

【目的】

近年、IT（特にIoT）、ビッグデータ、AIを活用した地域経済の活性化が期待されていますが、大学での研究シーズと社会が求める具体的なサービスには大きな隔たりがあります。

本研究部門は、そのギャップを埋めるために大学と企業コンソーシアムが連携して、IT分野の研究シーズを短期間で社会実装するプロトタイプ開発の場を創出し、ITの社会実装を加速させることが目的です。

【共同研究】

《テーマ》

- ①IT シーズ技術を社会実装するためのプロトタイプ開発
- ②IoT 技術の農業、観光、食分野への応用研究

《メリット》

コンピュータグラフィクス、IoT、組み込みシステム開発などの研究実績を有する北海道大学大学院情報科学研究院と、IT分野の機器開発、サービス提供などで実績のあるアイ・システム株式会社、株式会社シーズ・ラボ、株式会社セラフ、フュージョン株式会社及び株式会社ユニリタとの協業で、以下のとおり研究開発を加速させることができます。

- ①異なる研究組織の協業から生み出される斬新な IT 応用システムの開発、応用分野の探索
- ②北海道大学の研究開発用機器、情報環境を活用した高機能機器、ソフトウェアの試作開発
- ③北海道大学フード&メディカルイノベーション（FMI）国際拠点の協業支援環境を活用したオープンイノベーションの促進

【設置場所】 北海道大学フード&メディカルイノベーション（FMI）国際拠点
（札幌市北区北 21 条西 11 丁目）

【参画部局】 北海道大学大学院情報科学研究院

【設置部局】 北海道大学産学・地域協働推進機構

【設置期間】 2019年4月1日から2021年3月31日までの2年間

【産業創出部門】

北海道大学が、企業と組織対組織型*1の大型共同研究を推進するために2014年4月から開始した制度です。

《目指すもの》

従来型の共同研究は、大学の1研究者（または研究室）と企業の研究所や研究開発部門との共同研究であるのに対し、本部門では、企業とイコールパートナーシップの関係の下、共に新産業の創出・事業化を目指して共同研究を行います。具体的には、

- ①北海道大学が企業と行う共同研究の新しい形態
- ②大学と企業、双方のトップマネジメントが積極的に関わり、両者が研究や経営のリソースを提供しながら、新産業の創出や事業化を目指します。

《設置要件》

- ①産業創出部門の理念を双方で共有すること

※理念の例：組織対組織型の共同研究を実施、イコールパートナーシップ*2の尊重、ミッションとゴールの共有など

- ②企業が北海道大学の施設内に研究室を2年以上の期間設置し、共同研究を行うこと
- ③北海道大学と企業が相互に人材を提供し、アンダーワンルーフ（ひとつ屋根）の下、協働しながら共同研究を行うこと

お問い合わせ先

北海道大学産学・地域協働推進機構先進ITプロトタイプ研究部門

特任教授 山本 強（やまもとつよし）

T E L 011-706-9619 F A X 011-706-9607 メール yamamoto@ist.hokudai.ac.jp

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp

【用語解説】

*1 組織対組織型 … 企業及び大学のトップマネジメントが関与した、両者の組織をあげた共同研究のこと。

*2 イコールパートナーシップ … 対等な関係で行う協力や提携のこと。